授業科目名： スポーツ（２）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1単位	担当教員名： 渋谷聡・秋澤一輝・住本純 担当形態：　クラス分け・単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科　目	免許法施行規則　第66条の6に定める科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	体育		

「学位授与の方針」との関係

DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）
DP5.共生社会創造の目的のために、様々な分野について絶えず学び続ける態度を持つことができる（継続力）

授業のテーマ及び到達目標

【授業のテーマ】
体育
【到達目標】
（１）「する」スポーツ（特に自然環境を生かしたスポーツ）について理解することができる。
（２）「みる」スポーツについて理解することができる。
（３）「支える」スポーツについて実践することができる。

授業の概要

「する」スポーツには、球技等だけではなく、自然環境を戦術として利用するものや、自然環境の中で行うものもある。また、スポーツとの関わりには、必ずしも「する」だけではなく、「みる」ことや「ささえる」こともある。
本授業では、「する」、「みる」、「ささえる」という観点から、スポーツの奥深さ、面白さ、楽しさ、課題について体験を通して学び、受講者の今後の人生が豊かになるための可能性を探っていく。

授業計画

第１回：「する」スポーツ(1)自然環境とスポーツの関わり①身体的影響
第２回：「する」スポーツ(2)自然環境とスポーツの関わり②心理的影響
第３回：「する」スポーツ(3)自然環境とスポーツの関わり②社会的影響
第４回：「する」スポーツ(4)自然環境に対してスポーツが与える影響
第５回：「する」スポーツ(5)自然とスポーツの共生
第６回：「する」スポーツ(6)自然と関わるスポーツの実践
第７回：「みる」スポーツ(1)直接的な観戦（ライブ）
第８回：「みる」スポーツ(2)間接的な観戦（メディア）
第９回：「みる」スポーツ(3)2つの観戦の可能性（メリット・デメリット）
第１０回：「ささえる」スポーツ(1)スポーツボランティアとは
第１１回：「ささえる」スポーツ(2)スポーツボランティアの現状
第１２回：「ささえる」スポーツ(3)スポーツボランティアの課題
第１３回：「ささえる」スポーツ(4)スポーツボランティアの実践（生涯スポーツ）
第１４回：「ささえる」スポーツ(5)スポーツボランティアの実践（アダプテッドスポーツ）
第１５回：「する」、「みる」、「ささえる」スポーツの関わり
科目修得試験

スクーリングでの学修

「ささえる」スポーツの課題や解決方法について、グループディスカッションといったアクティブラーニング手法や実践を通して学びを深めていく。（主に第10回～第15回の内容を含む）。

テキスト

・『環境白書　第2節　3 自然とのふれあいを生活の中へ』環境庁
https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/h10/10654.html
・二宮昌也（2017）「スポーツボランティア読本―「支えるスポーツ」の魅力とは？」悠光堂　978-4906873845

参考書・参考資料等

・スポーツ庁「アウトドアスポーツ宣言」
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1399436.htm
・環境庁「環境白書　第2節　3 自然とのふれあいを生活の中へ」https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/h10/10654.html

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）